

目次

はじめに(早間玲子)……………8

I部 ジャン・プルーヴェ、自身を語る……………13

まえがき(アルメル・ラヴァール)……………14

1 鋳鉄職人……………17

2 ジェネラル・キュステイヌ通りからマクセヴィルまで……………27

3 マクセヴィル工場の自主管理方式……………37

4 家具……………42

5 ロッズとみんなの家……………47

6 集合住宅地帯——団地……………53

7 大企業……………56

8 工業化——プレファブ方式……………59

8—1 プレファブ方式……………59

8—2 一様性(uniformité)——多様な部材からつくられる工業製品の一様性……………63

8—3 一貫性(unité)——一貫した建築群は安らかな気持ちを与える……………67

9 一戸建て住宅……………72

9—1 ムードンの住宅……………72

9—2 アルバの住宅……………74

9—3 ピエール神父の家……………74

	9 4	ナンシーの住宅	75
	9 5	サハラの家	77
10		ル・コルビュジエ	79
	10 1	ラルブレルの修道院とロンシャンの礼拝堂	81
	10 2	サヴォア邸とジャウル邸	83
	10 3	都市計画	83
	10 4	アスコラル(建築の刷新を目指す建築関係者の会)	85
	10 5	C I A Mのための提案	86
11		アトリエのおわり	87
12		マクセヴィルのあと	91
	12 1	アルミニウム百年記念館	92
	12 2	ルヴォワ通り	92
	12 3	C I M T社	94
	12 4	メトロ駅	99
13		構想から実施へ	102
14		国立工芸院 C N A M教授	105
15		建築家?	114
16		ブラン・マントー通り	117
	16 1	グルノーブルの大展示会館	118
	16 2	小規模な建築の計画	118
	16 3	ベルシーの競技場	120
17		建築家の世界	124
18		良識ある建築	134

II部 構築家ブルーヴェは語る、工業生産から生まれる建築のすがた……………139

まえがき……………140

1 建物の構成……………143

1―1―1 行動方針……………146

1―1―2 伝統……………148

1―2 ワルシャワにおける講演「工業生産に関するフランス展覧会に際して」(一九六四年十月)……………153

1―3 マクセヴィルの工場……………160

1―4 建築の工業化をテーマにするコペンハーゲン会議のためのテキスト(一九六四年)……………167

2 建物の構造……………173

2―1 構造システムのタイプ……………176

2―1―1 ポルテイク(柱・梁一体)タイプ―ムードンの住宅／サンテグレーヴの技術高校……………178

2―1―2 a シェル(殻構造)タイプ―ムードンのシェル構造住宅、b シェド(弁流れ屋根のシェル)タイプ―トゥールのママ印刷所……………180

2―1―3 ベキーユ(弁持ち梁・柱一体)タイプ―ミネラルウォーター・エヴィアン社の鉱泉水飲所の新社屋……………182

2―1―4 アーチ型タイプ―パリ天文台・子午線観測室／エルモン青年会館……………184

2―1―5 ポルテイクH型(梁・柱一体のH型)タイプ―サハラの家／サハラの家……………186

2―1―6 中央コアタイプ―アルバの家／セイナヴ夫人別荘／コア式大規模集合住宅の構想……………188

2―1―7 タブレ(床版)タイプ―ベルリン自由大学のための提案／グルノーブルの大展覧会館……………192

2―1―8 多様な面積に対応する網状屋根タイプ―高速道路用トータル社・ガソリンスタンドの屋根……………196

2―1―9 プラスチック材タイプ―サンゴバン社のための提案……………198

2―2 ブラジリアで開催された国際美術評論家連盟の会議における講演「建築家とエンジニアの今日の関係」(一九五九年)……………199

3 加工製作……………203

3―1 鍛造……………205

3―2―1 クリッシーのみんなの家―屋根のある市場……………208

3―2―2 在仏日本大使公邸……………210

4 生活環境……………217

3—2—3	グルノーブル大展覽会館……………	211
3—2—4	ナント海洋学研究所センター……………	212
3—2—5	国立産業技術センター C. N. I. T. ……	212
3—2—6	パリ、モザール広場の集合住宅……………	213
3—2—7	リール市見本市会館……………	213
3—2—8	パリのユネスコ別館……………	214
3—2—9	ロッテルダム医科大学……………	215
3—2—10	サン・テグレ・ヴの技術高校……………	215
	《ル・コルビュジェ「ジャン・ブルーヴェ」——『モデュロールⅡ』から抜粋》……………	216
4—1—1	一九六五年三月開催のシンポジウムのために用意された報告書「建設の工業化」……………	219
4—1—1	ビュックのローラン・ギャロス飛行クラブ……………	225
4—2	工業化された一戸建て住宅……………	228
4—2—1	ナンシーのジャン・ブルーヴェ邸……………	230
4—2—2	ムードンの住宅……………	232
4—2—3	ピエール神父の家……………	237
4—2—4	セイナヴ夫人別荘……………	241
4—2—5	ジャウル夫人邸……………	242
4—2—6	熱帯地方の住宅三例 1 熱帯地方の家……………	243
4—3	集合住宅……………	246
4—3—1	ナンシー欧州大学宿舎……………	249
4—3—2	山岳地帯に建設される建築の課題……………	250
4—4	学校建築……………	253
4—4—1	モゼル県、ヴァントゥの実験的学校……………	255
4—4—2	ヴァルジュイフの小学校……………	256
4—5	公共建築……………	258
	243 / 2 サハラの住宅 3 サハラの单身探鉱者の住まい……………	244

4―5―1	クリッシーのみんなの家―屋根のある市場……………	258
4―5―2	アルミニウム百年祭記念館……………	259
4―5―3	エルモン青年会館……………	260
4―5―4	グルノーブルの大覧覧会館……………	261
4―5―5	オルレアンの中学校……………	262
4―5―6	ベルリン自由大学……………	262
4―5―7	トータル社・ガソリンスタンド……………	263
4―5―8	文部省主催による、文部省庁舎の建築競技設計……………	264
4―5―9	ノベル・タワー、ラ・デファンス……………	265
4―6	家具……………	266
5	建設チームの構成……………	273
5―1	建設チームの構成……………	275
	《ル・キュルビュジエ「ジャン・ブルーヴェ」―パリ装飾美術館展覧会によせて（一九六四年一月七日）》……………	280
	おわりに（早間玲子）……………	282
	年譜……………	xxx
	索引……………	i